

平成 28 年 10 月 11 日
(公社) 全日本鍼灸学会 学術研究部

指定演題について

(公社) 全日本鍼灸学会学術研究部は、学術大会ならびに研修会において、これまでのエビデンスをまとめたセミナーや先端の研究を紹介するシンポジウムなどを、企画してきました。

近年、注目されるべき領域やコンセンサスを得ておくべき事項が多く見られる様になりました。これらについて、議論を深めより高いエビデンスを構築していくことを目的に特に重要なテーマと課題について選定し、そのテーマと課題に関する内容の指定演題を募集することとなりました。多くの演題の応募をお待ちしています。

○東京大会でのテーマと課題

1. 末梢性顔面神経麻痺

- ① 予後不良の麻痺を回復させることは可能か？
- ② 後遺症を軽減させることは可能か？
- ③ 低周波鍼通電療法は麻痺（後遺症）を悪化させるか？

2. 運動器疾患に伴う慢性痛

- ① 慢性疼痛の心理社会的要因の評価
- ② 慢性疼痛患者の対応についての検証

○募集演題数

1 テーマにつき、4～5 演題を予定しています。なお、演題が募集数に達しなかった場合は、該当テーマの指定演題を取り止めます。その際は自動的に発表形式を学会一任（口演発表もしくはポスター発表）に変更させていただきますのでご了承下さい。

○応募方法

平成28年11月1日（火）より従来通り、演題登録システムから一般演題の募集を行います。発表形式を「指定演題」、発表区分（第1希望）を「51 その他（上記のいずれにもあてはまらないもの）」と選択していただき、それ以降は他の形式と同様に記入し、登録してください。なお、抄録の様式は一般演題に準じます。

○発表形式

発表形式は口演発表（発表時間：7分、質疑応答：5分）に準じ、全演題終了後に約30分の総合討論の時間を設けます。

○選考方法

総合討論の時間を確保するため、1テーマに対する演題数を4～5演題とさせていただきます。演題は、一般演題と同様に抄録審査を行った後、採択された演題について、当該分野の専門家と学術研究部で選考させていただきます。

なお、一般演題に採択され、指定演題に選考されなかった演題については、自動的に発表形式を学会一任（口演発表もしくはポスター発表）に変更させていただきますので、ご了承下さい。

○座長

当該分野における専門家（鍼灸師・医師、基礎医学など）

○特徴

専門家である座長を交えて演者間で総合討論するところが特徴となっています。エビデンスを構築していく上での問題点や課題などを議論し、臨床や基礎にとらわれず、今後の鍼灸学の発展に寄与できることを期待しています。